

●異常高温の連続 いつまで続く

降水量も減少 普賢寺川・青谷川は流水殆どなし 川が干上がっている西日本豪雨災害による大被害が発生し、その復興への取り組みが始まると同時に、異常高温が連続し熱中症による死亡事故が連続しています。

28日・29日の「親子で遊ぼう学ぼう魚とり」の会場地の下見を大釜さんと播川さん、山村が行いました。普賢寺川の水流は全く無く、ワンドに溜まっているだけで、ここ数日で枯れるのではないかと思います。日曜日29日の取り組みまで残ってほしいと思います。この場所は低水位なのですが、柳などの大木が数多く茂って木陰があって、真夏の林間学習には、いい環境地なのです。心配される熱中症対策がある良い場所です。前日の28日の会場を下見しました。ここは本川の水流に接する砂州が大きく広がっている場所で、木津川で最も優れています。乗越川や支川からの流れが常にあって、小魚の生育地としていい場所です。

しかし、この水が早くも枯れて、川底が干上がり、一匹の魚も見つけることはできませんでした。日差しを避ける場所は国道307号線の鉄橋下のみです。日陰では最も厳しいところなのです。今年はこの異常高温の下で非常に厳しい条件が突き付けられています。なんと言っても楽しみにしている子どもたちの期待に応えようと大釜さんたちと苦労しています。

●竹割機と幅調整器の試作を高橋慶平さんに依頼

今から2年前に竹蛇籠を設置して木津川の生き物が増えることを願って伝統工法による蛇籠の製作に取り掛かり、左岸と右岸に計6基を設置しました。流れ橋が流失する大出水が数回あり、上部の蛇籠1本はなくなりましたが、下部の2本は残っています。この流失した上部の6本の修復を行うのか、それとも新しく作り直すのか検討をしています。また昨年秋に設置した中聖牛は頭部の先端までの数回の出水にも耐えて、原形を維持しています。三基の効果が十分発揮されたのだろうかと思います。

少なくとも、あと3基の増設で水撥ね効果が出てくるのだろうかということで、秋に中聖牛の増設を予定しています。少なくとも竹蛇籠27本(長さ4m)が必要になります。里山の会の事務局メンバーは竹蛇籠のリーダーとなって製作に取り組もうと努力を積み重ねています。竹蛇籠製作で最も大切なことは、均一な素材を提供できるかどうかにかかっています。特に竹素材の幅が均一でなければ曲げ強度に差が出来て六ツ目編みが不ぞろいになり徐々に大きく広がってしまいます。材料の均一化が決め手なのです。手作業では相当の時間と人手がかかります。そこで、長さ7mの竹を割り裂く「竹割機」が必要です。次に割った竹の幅を4cmに揃えることになります。7mの竹を割る「割り機」と幅を4cmに揃える「割り幅精製機」の二つの道具がなければ、人力で200本(7m)の竹の4分割と鉋や鎌での800本の(幅4cm)精製する大仕事になります。最後に竹の節を取り除き曲げやすくするために「ひび割れ」を加えて素材完成となるのです。ひび割れは地固め用のダンパーを利用すれば可能になります。できるだけ切り出して日にちの経過していないものを使うといいらしいです。

●大住中学校長(伊藤氏)面談 24日

中西康太君の発表手続きへの協力依頼のために播川、山村が訪問、快く協力を得る。

里山の会では来年(19年)3月に日本生態学会が神戸市で開催されるので、中学2年生の中西君が里山農園や周辺の生き物(カスミサンショウウオの発見、オオムラサキの観察記録など)について発表するので、資料集めに取り組んでいます。発表への参加申し込み手続きは、所属学校が申し込みの手続きを行うことになっているので、その手続きなどのお願ひにお尋ねしました。校長のお母さんは山村さんの同級生ですと自己紹介されて、とんとん拍子に話が進み、快く引き受けていただきました。

●京の七夕 伏見大手筋商店街振興会 竹笹 3m×10本を納品

猛暑続きの中7時30分に集合して伏見大手筋商店街事務所に8時45分に到着しました。事務所は9時に

開かれるので少し待ちました。大手筋の午前中は自動車通行制限が無いので、新油小路通りから東に入りました。久しぶりなので、すっかり様子が変わっているのに驚きました。風呂屋や映画館があり、模型工作材料店があって楽しい町でしたが様変わりがしていました。商店街事務所が運営しているガレージの隅に笹竹を下ろして大急ぎで帰りました。3mものを10本切り出し寸法に合わせ調整と残り物処分と、荷造りすると日影でしたが汗がぼとぼと落ちました。商店街の職員さんは大変喜んでいただきました。(次回は8月1日13時、丹波橋繁栄会 8月3日16時、木屋町商店街)

●28日親子魚とり参加者の駐車場の草刈

木津川本川での「親子で遊ぼう学ぼう魚とり」に参加される皆さんは自動車で来られますので、その駐車場の確保がなかなか大変です。毎年ですが、草内渡しの浜の駐車場確保は、この時期は、クズが大繁茂します。これの除去は並大抵の作業ではありません。刈払い機で刈り取るとなると絡みついて作業になりません。ハンマーモアという自走式の刈取り機を使っても周辺部を除いて約6時間の作業でした。暑さの厳しい大仕事でした。冠水が何度も繰り返されていたので、土埃がものすごく舞い上がります夕方7時に中央部の刈りを終えました。最も繁茂している周辺部のクズは刈り残してしまいました。

●記録的な豪雨に引き続き異常な高温の連続

次は台風の接近と休む間もなく自然の大変化が連続して起きています。世界各地で、この時期、集中的に起きているようです。今日の事務局会議で台風12号は計算外にして、このままだと中止続きになりそうな「親子で遊ぼう学ぼう魚とり」イベントになるので、応募者が適正規模なので、開催を決定しました。しかし予想もしなかった台風12号が土日に接近となるので、予定している「親子魚とり」も危険を冒すわけにはいきませんので、中止もやむなしということになりかねません。スタッフとしてご協力いただける皆様にはまことに申し訳なく思いますが、集合時間を正確にお守り頂いて、ご参集ください。よほどのことがない限り実施の方向でと考えております。万一の場合は、現地判断も必要になります。ご協力よろしく願いたします。

●木津川ロビー展

木津川管内河川レンジャーとやましろ里山の会による催しが
7月30日12時～16時、31日9時～16時に 木津川市役所1階で開催されます。木津川の植物、花、生き物、野鳥などの写真展示や河川レンジャー活動の紹介などがありますので、ぜひお越しください。

●来年度沖縄の波照間島へ生き物調査(6月中旬)について

経費の積み立て開始について。昨年の夜の生き物調査にお越しになった近畿大学の前潟先生と桜谷先生からぜひ一度波照間島に行きましょうとお誘いをいただきました。長年ここで研究調査を行っているので、案内ができますとお誘いを頂きました。それから一年が経過しましたが、なかなか腰が上がらず話に終わってしまいそうです。こんないい先生にご案内いただけるチャンスに巡り合うことはないと思います。5泊6日の予定で約10万円の経費となります。前の理事長の深田さんが随分と乗り気になっていただいております。会員の皆様の積極的なご参加を呼びかけます。予定時期は31年6月10日から16日ぐらいと考えています。決定ではありませんが準備を始めたいと思っています。